2018年日本の医療に関する世論調査　調査対象者

図1

- 調査期間：2018年6月
- 調査方法：インターネット調査
- 対象者：調査会社パネルのモニターである全国の20歳以上の男女1,000名
- 有効回収数：1,000
- 回答者内訳

地　域　別	
北海道・東北	11.3 %
関東	34.0 %
中部	18.3 %
近畿	16.3 %
中国・四国	8.9 %
九州・沖縄	11.2 %

年　齢　別	
20代	12.0 %
30代	15.0 %
40代	17.8 %
50代	14.9 %
60代	17.5 %
70代以上	22.8 %

性　別	
男性	48.0 %
女性	52.0 %

出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

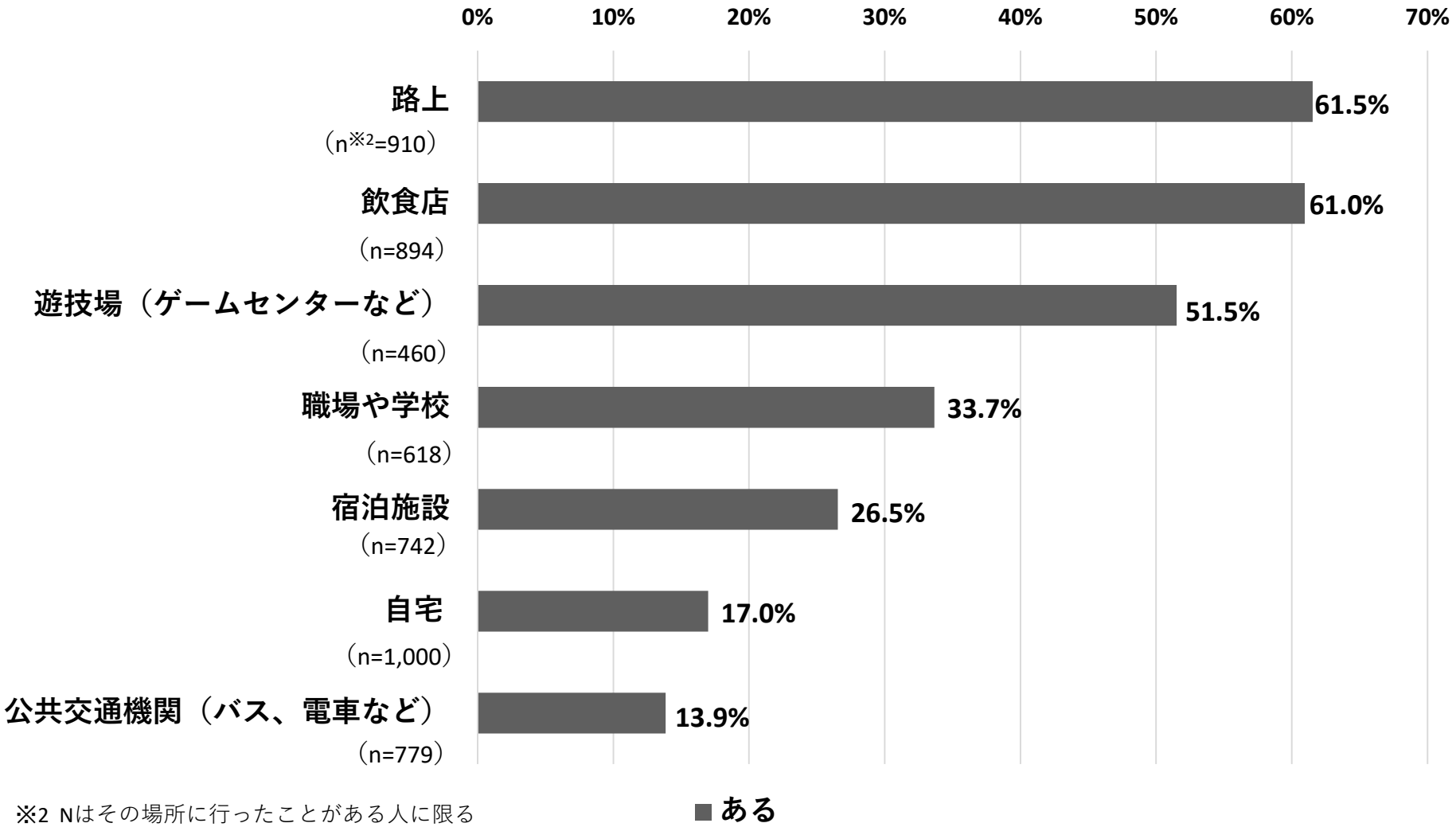
6割以上が「路上」や「飲食店」での受動喫煙を経験

図2

【問】次にあげる場所において、この一年間で受動喫煙※1を経験したことがありますか

（2018年6月）

※1 受動喫煙とは、本人が喫煙していなくても、身の回りにあるたばこの煙を吸ってしまうこと



※2 Nはその場所に行ったことがある人に限る

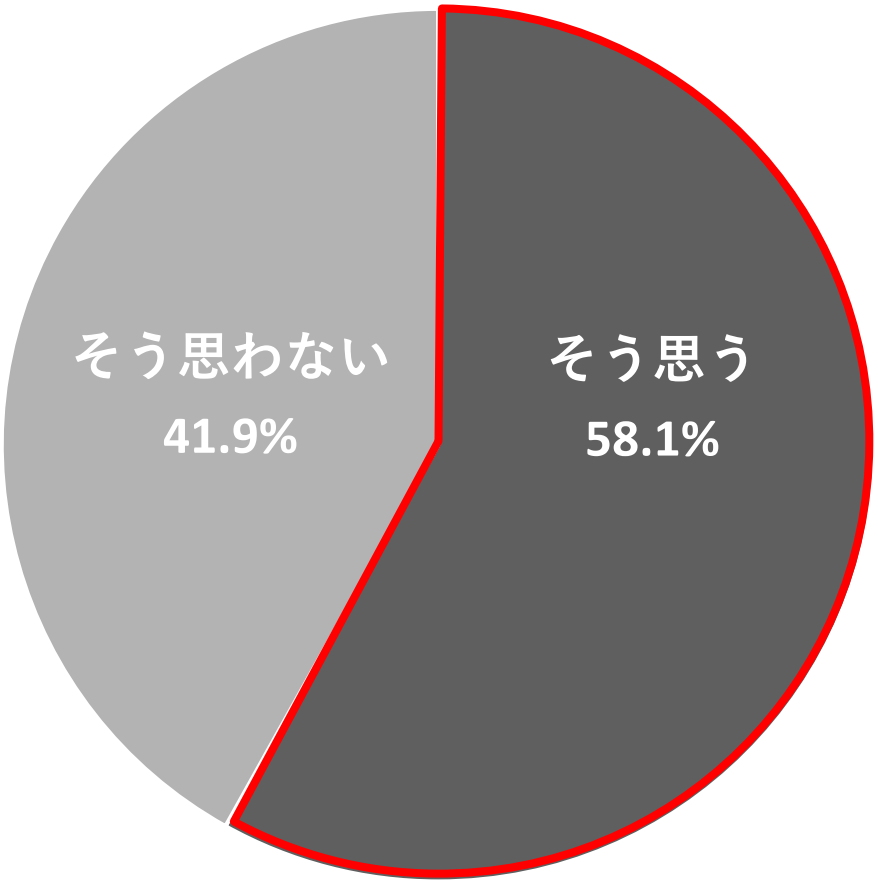
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

約6割が「喫煙可」の飲食店への入店を避ける

図3

【問】あなたは、行こうとしたお店が喫煙可 （分煙を含まない）だったら、入るのを避けると思いますか

（2018年6月 n=1,000）



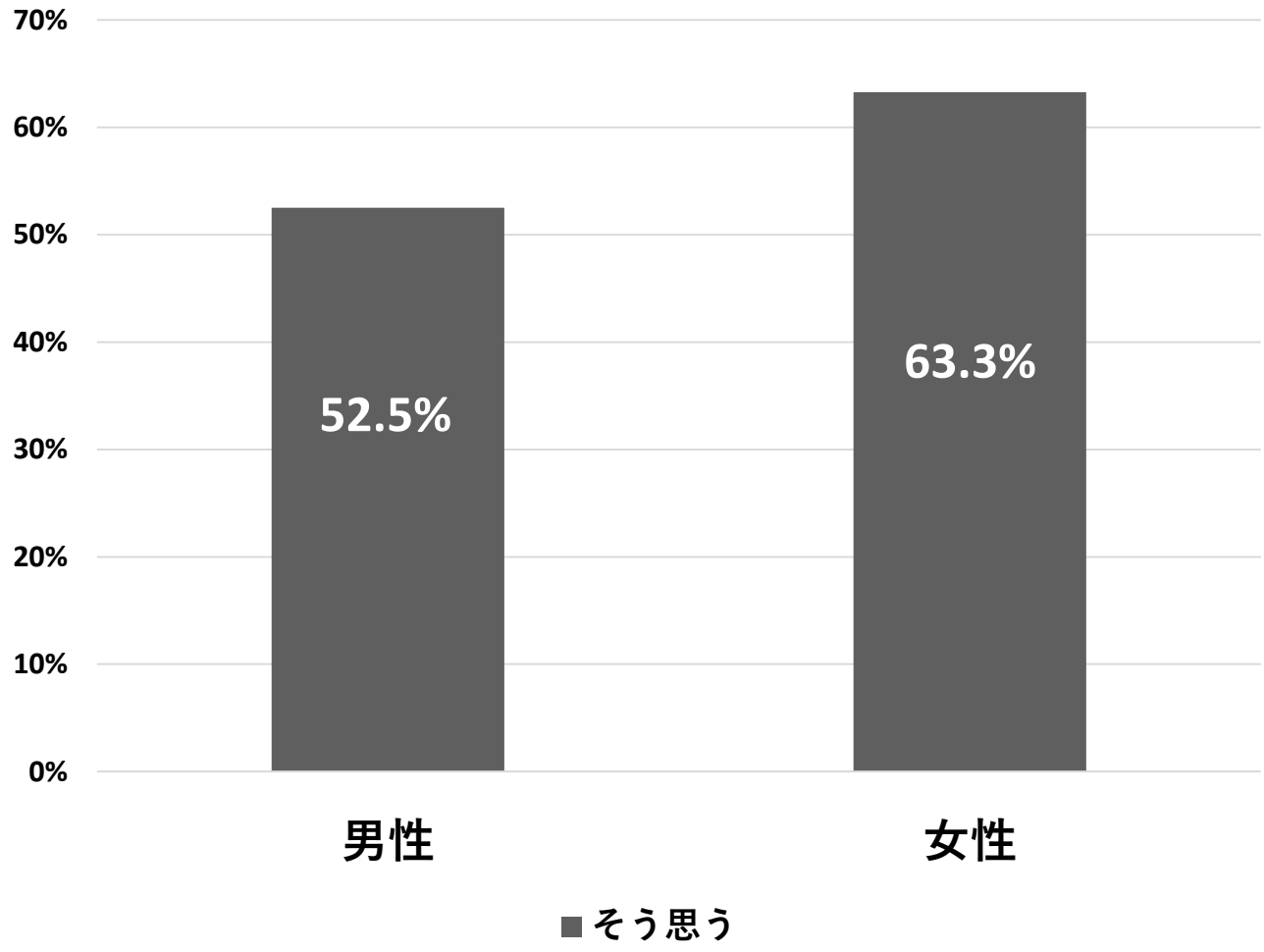
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

女性の約63％は「喫煙可」の飲食店への入店を避ける

図4

【問】あなたは、行こうとしたお店が喫煙可 （分煙を含まない） だったら、入るのを避けると思いますか（男女別での比較）

（2018年6月 n=1,000）



出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

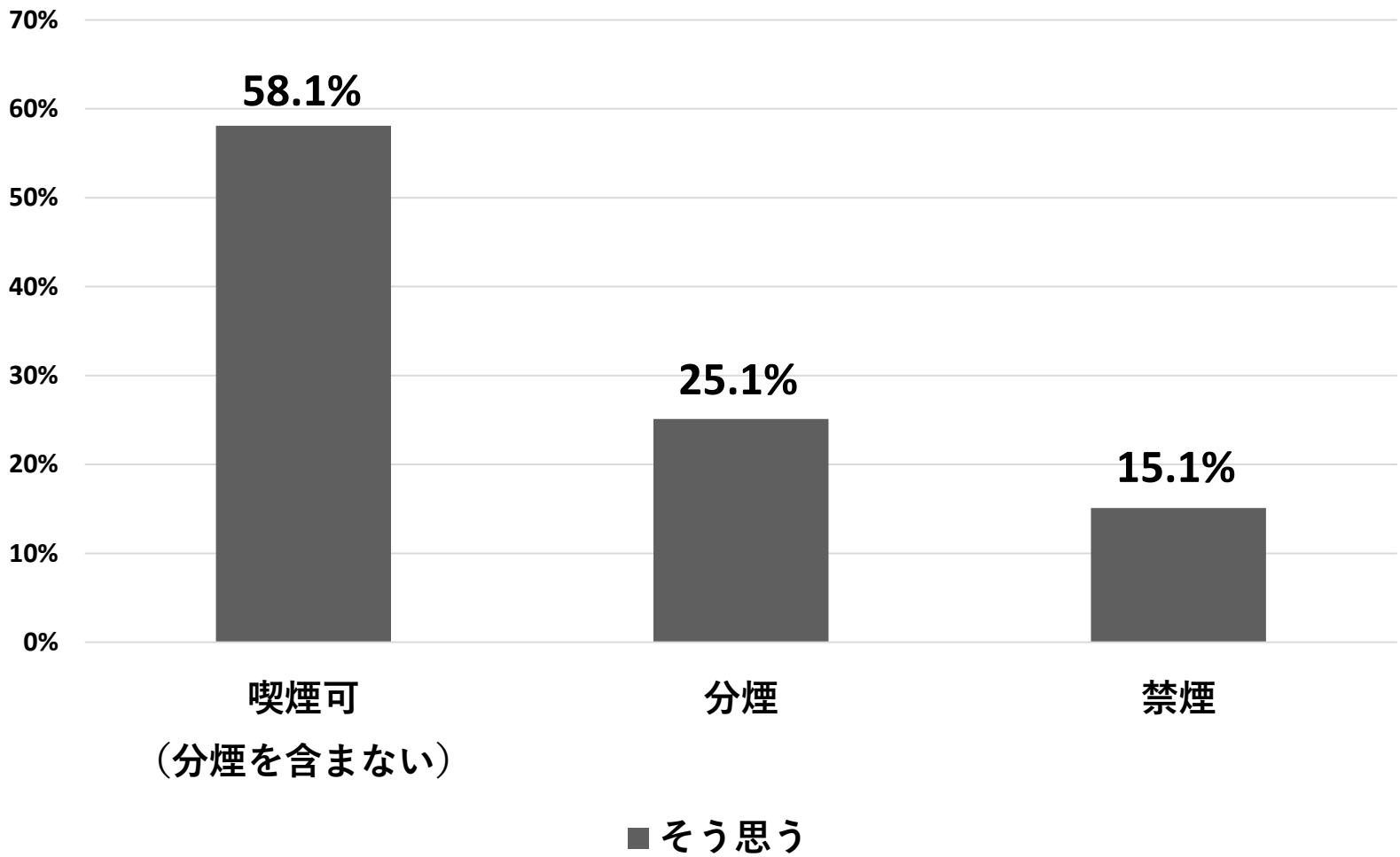
「分煙」であっても、約25％が飲食店への入店を避ける

図5

【問】あなたは、行こうとしたお店が喫煙可 / 分煙 / 禁煙※だったら、入るのを避けると思いますか

（2018年6月 n=1,000）

※禁煙スペースと喫煙スペースを隔てる方法が社会に浸透していることを鑑み、
今回の世論調査では、「喫煙可」「分煙」「禁煙」と分類し、質問した



出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

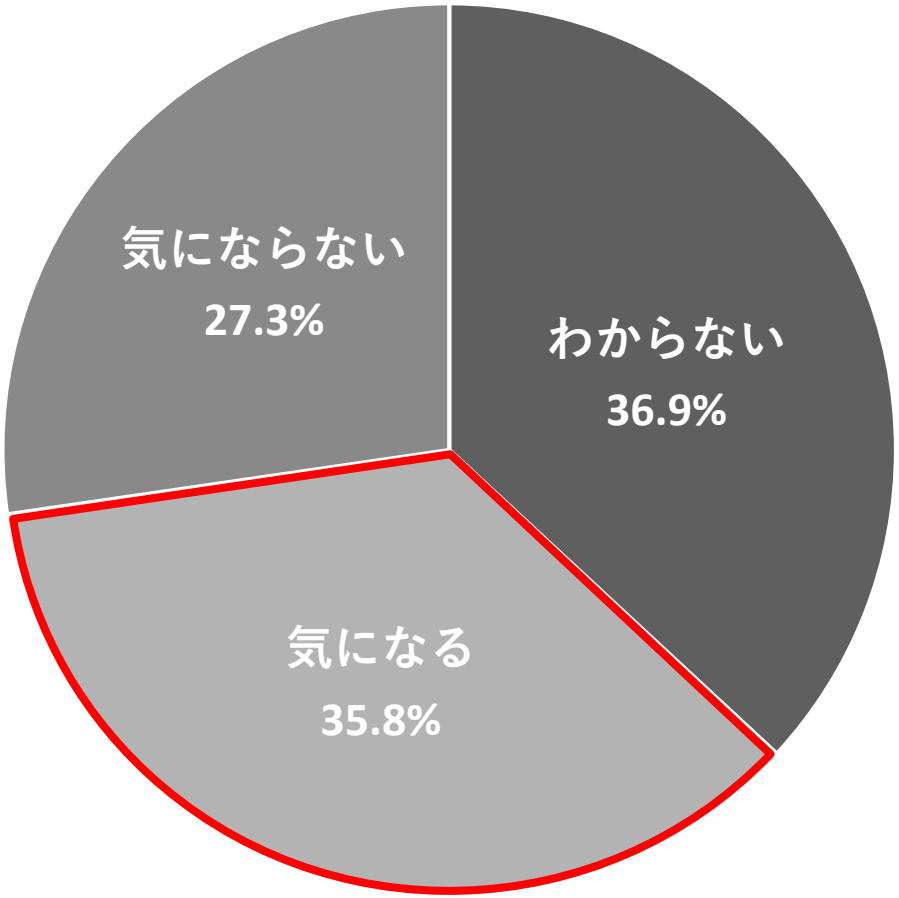
「電気加熱式たばこによる受動喫煙」の健康への影響が気になる人は約36％、気にならない人を上回る

図6

【問】あなたは、電気加熱式たばこ※を近くで吸われた場合に、自分の健康への影響が気になりますか

（2018年6月 n=1,000）

※電気加熱式たばことは、たばこの葉を燃やさずに電気で加熱し、発生した蒸気を吸い込む方式のたばこです
（例：IQOS（アイコス）、Ploom TECH（プルームテック）など）



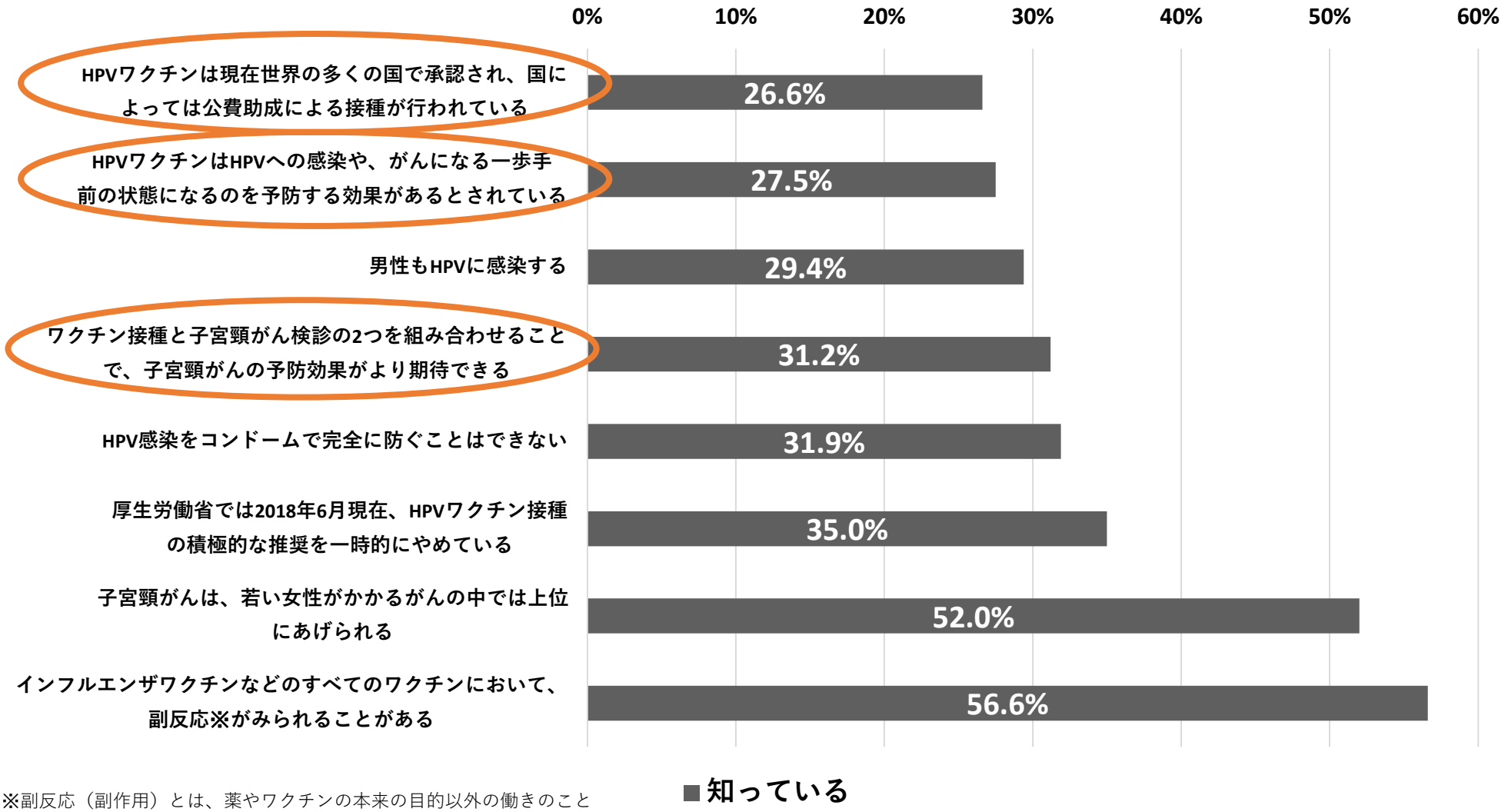
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

「HPVワクチン」に関する基本的な知識を持っている人は、3割弱

図7

【問】ヒトパピローマウイルス（HPV）および子宮頸がんに関する以下のことについて知っていますか

（2018年6月 n=1,000）



※副反応（副作用）とは、薬やワクチンの本来の目的以外の働きのことです（例：かぜ薬を飲むと副反応として眠気が起こるなど）

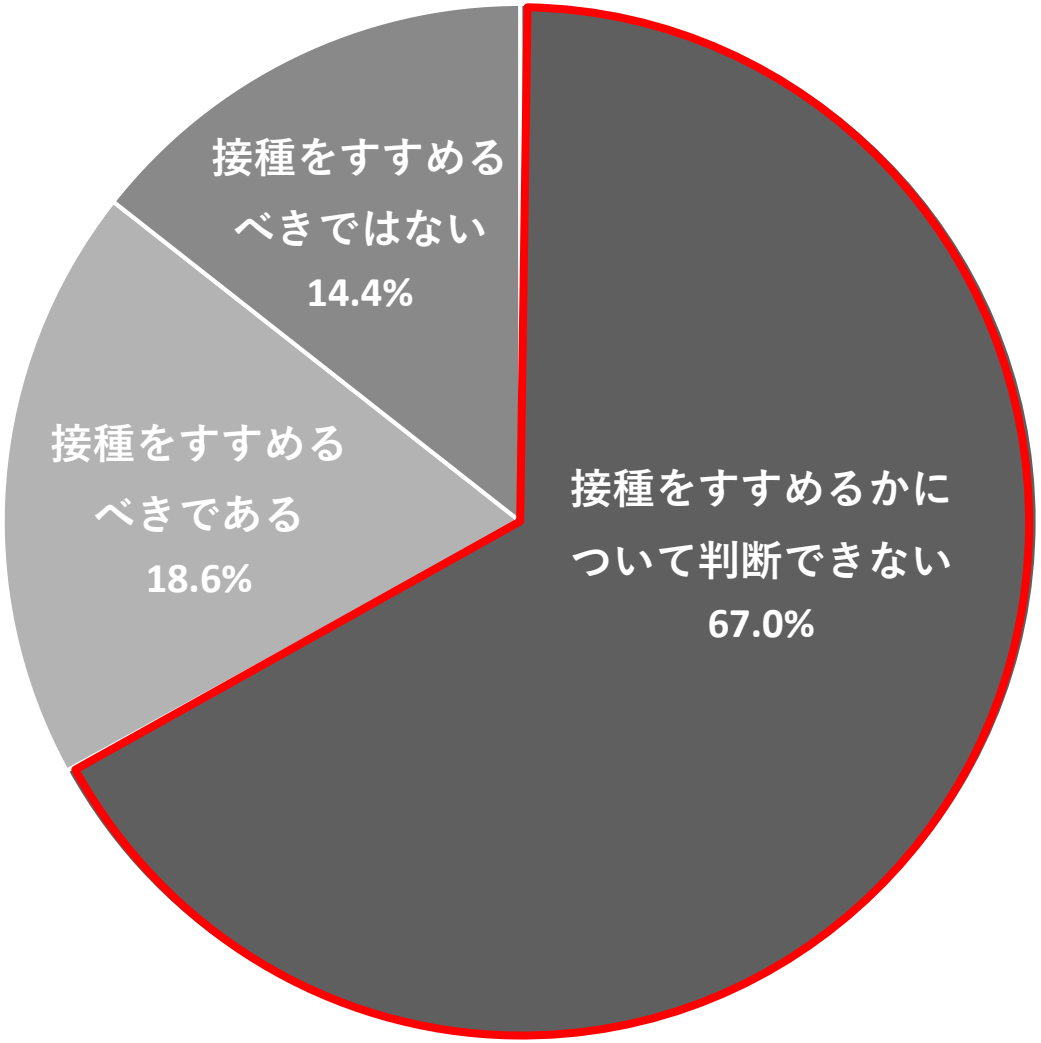
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

67%が「HPVワクチン接種」をすすめるかについて判断できない

図8

【問】HPVワクチンの接種に対しあなたの意見に最も近いものをお選びください

（2018年6月 n=1,000）



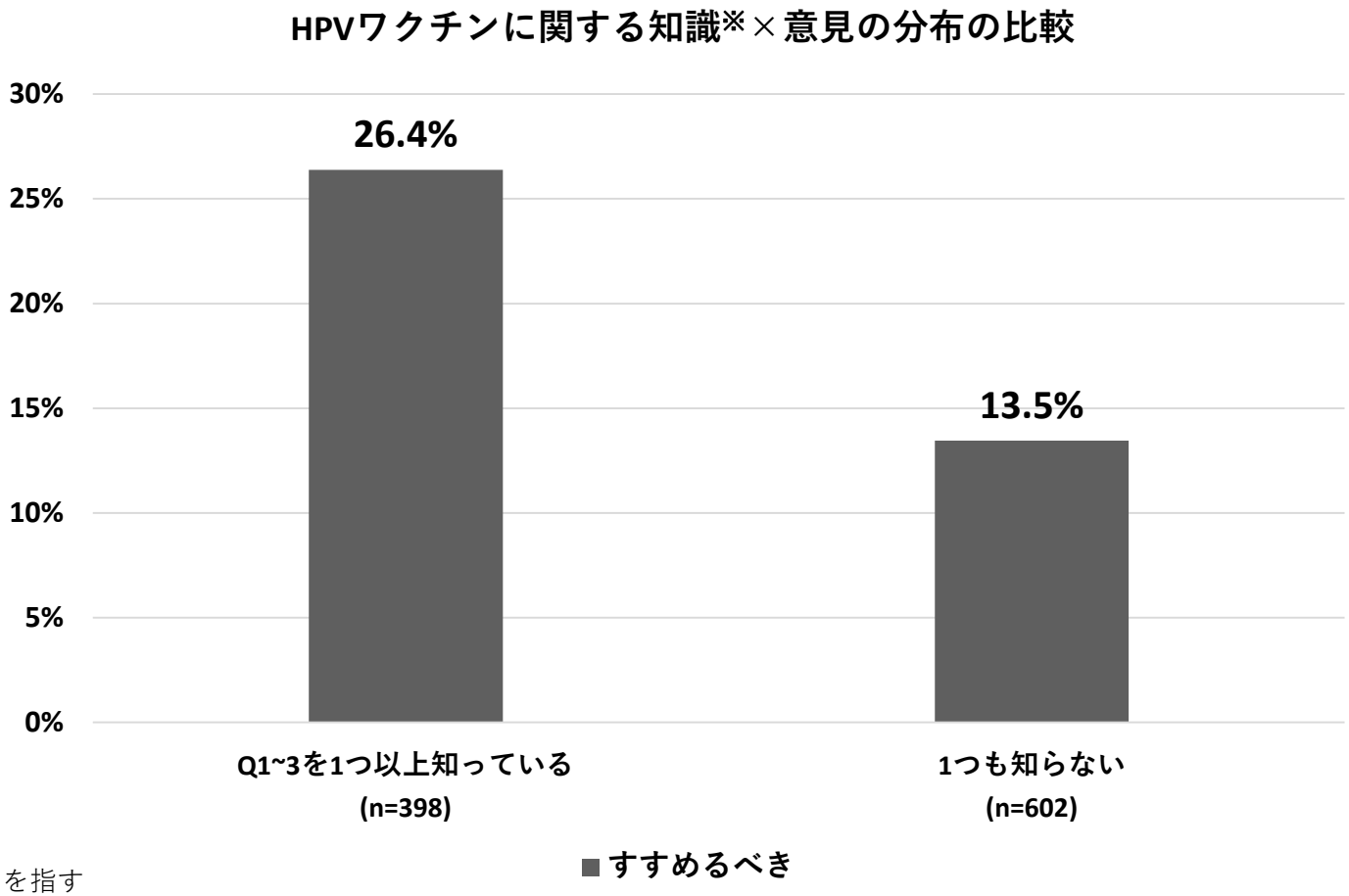
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

「HPVワクチン」に関する基本的な知識のある人のほうが、「HPVワクチン接種」をすすめるべきと回答

図9

【問】HPVワクチンの接種に対しあなたの意見に最も近いものをお選びください（重要な知識の有無との関係）

（2018年6月）



※以下の3つの質問を指す

Q1 HPVワクチンはHPVへの感染や、がんになる一歩手前の状態になるのを予防する効果があるとされている
Q2 ワクチン接種と子宮頸がん検診の2つを組み合わせることで、子宮頸がんの予防効果がより期待できる
Q3 HPVワクチンは現在世界の多くの国で承認され、国によっては公費助成による接種が行われている

出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

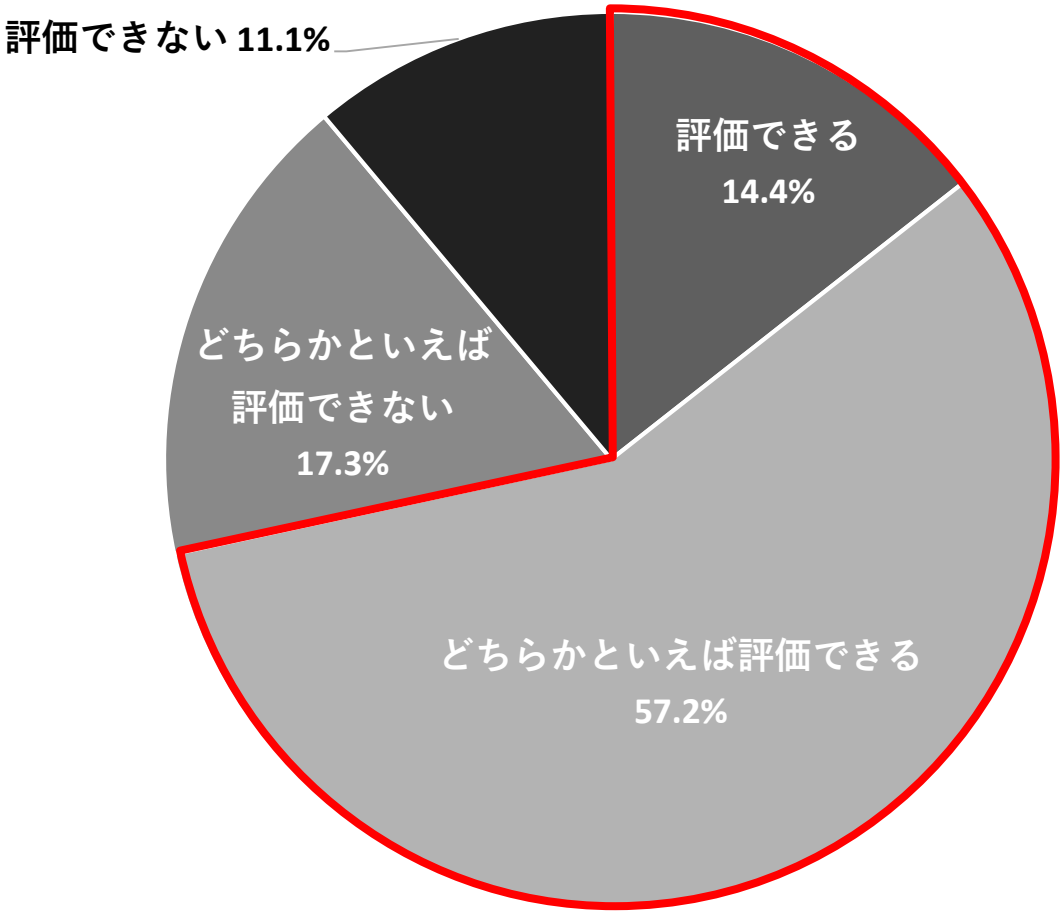
7割以上が「HPVワクチン」に関する厚生労働省の対応を評価している

図10

【問】厚生労働省の以下の対応についてどう思いますか

2010年より厚生労働省はHPVワクチンの接種をすすめ、2013年4月には定期接種の対象になりました。しかし、HPVワクチンにおける副反応の報告をふまえ、2013年6月に厚生労働省は「HPVワクチンは子宮頸がんを予防する効果はあるが一部重度の副作用も報告されており、積極的におすすめすることを一時的にやめています」という見解を発表しました

（2018年6月 n=1,000）



出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

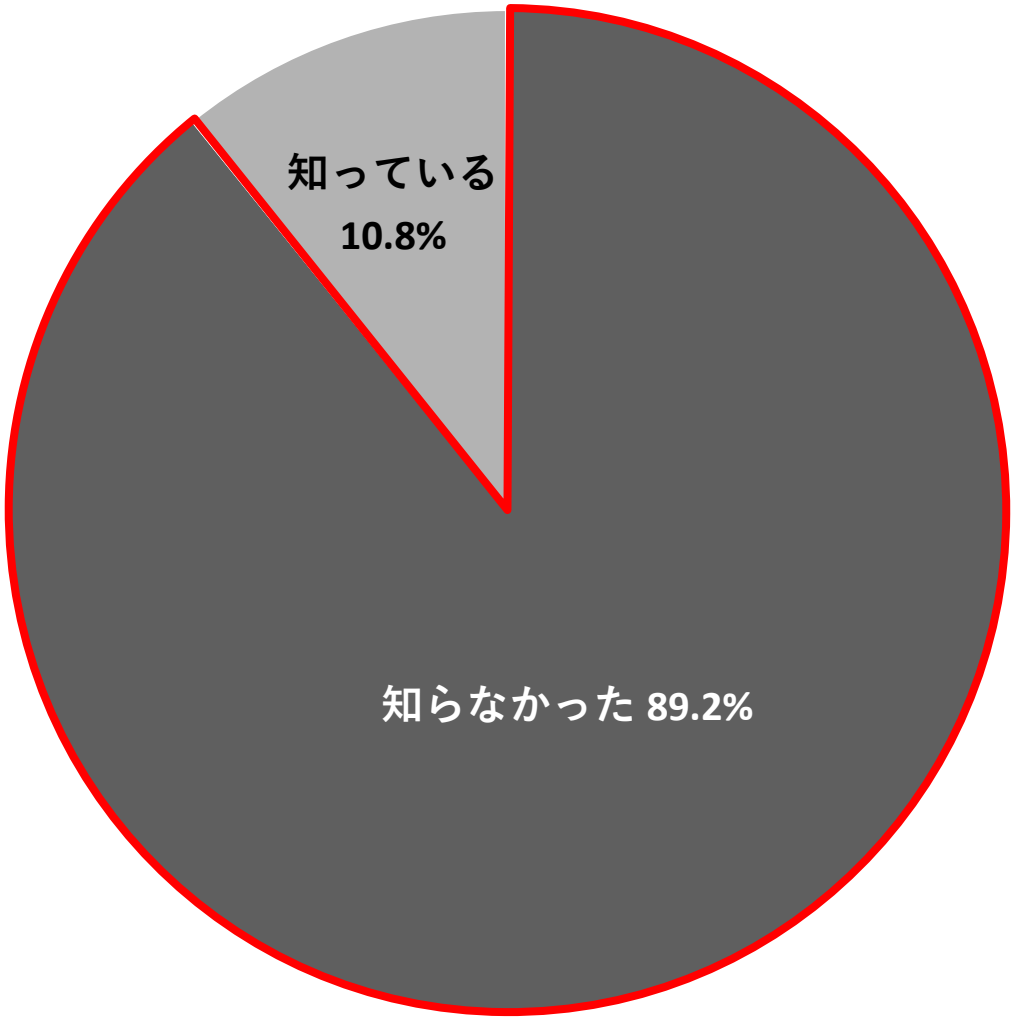
約9割が「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」について知らない

図11

【問】厚生労働省から発表された、終末期の治療方針の決定手順などをまとめたガイドライン※について知っていますか

（2018年6月 n=1,000）

※ 厚生労働省 「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」2018年3月



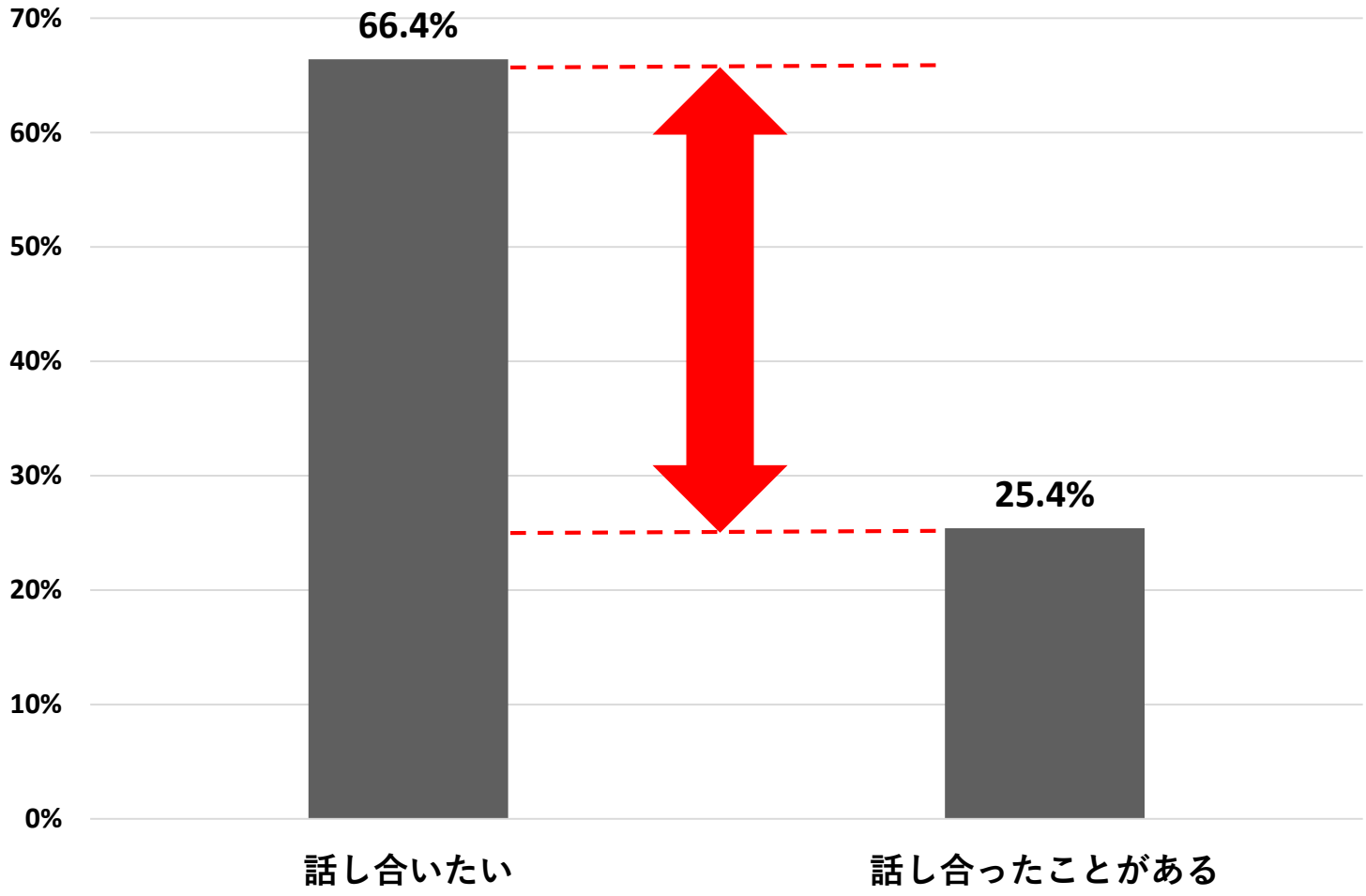
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

終末期医療について「話し合いたい人」は約66％、一方、実際に「話し合ったことがある人」は約25％

図12

【問】自分または身近な人の終末期に受ける医療について、身近な人と具体的に話し合ったことはありますか、また話し合いたいですか

（2018年6月 n=1,000）



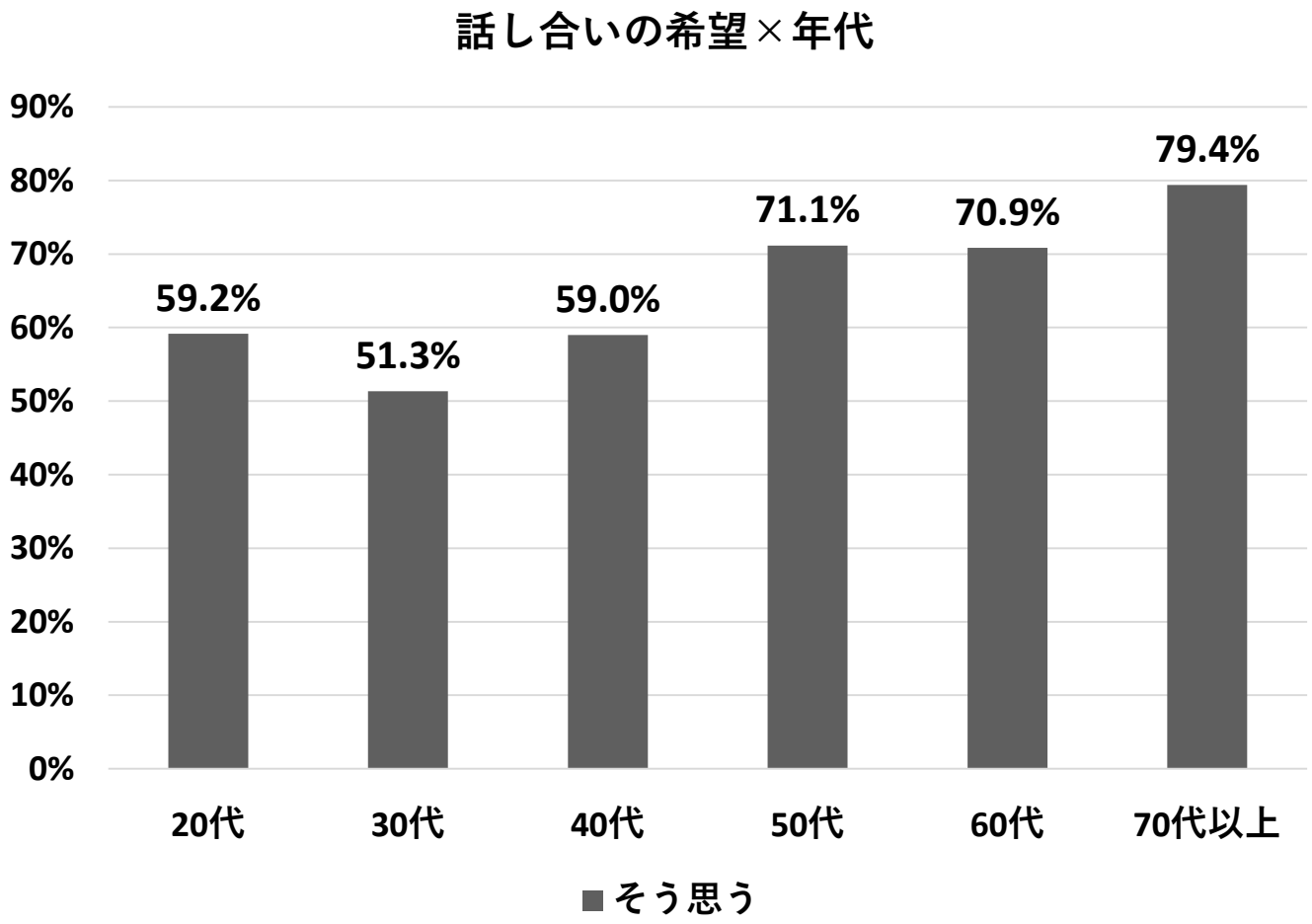
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

50代以上の7割以上が、「終末期医療」について話し合いたい

図13

【問】自分または身近な人の終末期に受ける医療について、身近な人と具体的に話し合いたいですか（年代別での比較）

（2018年6月 n=1,000）



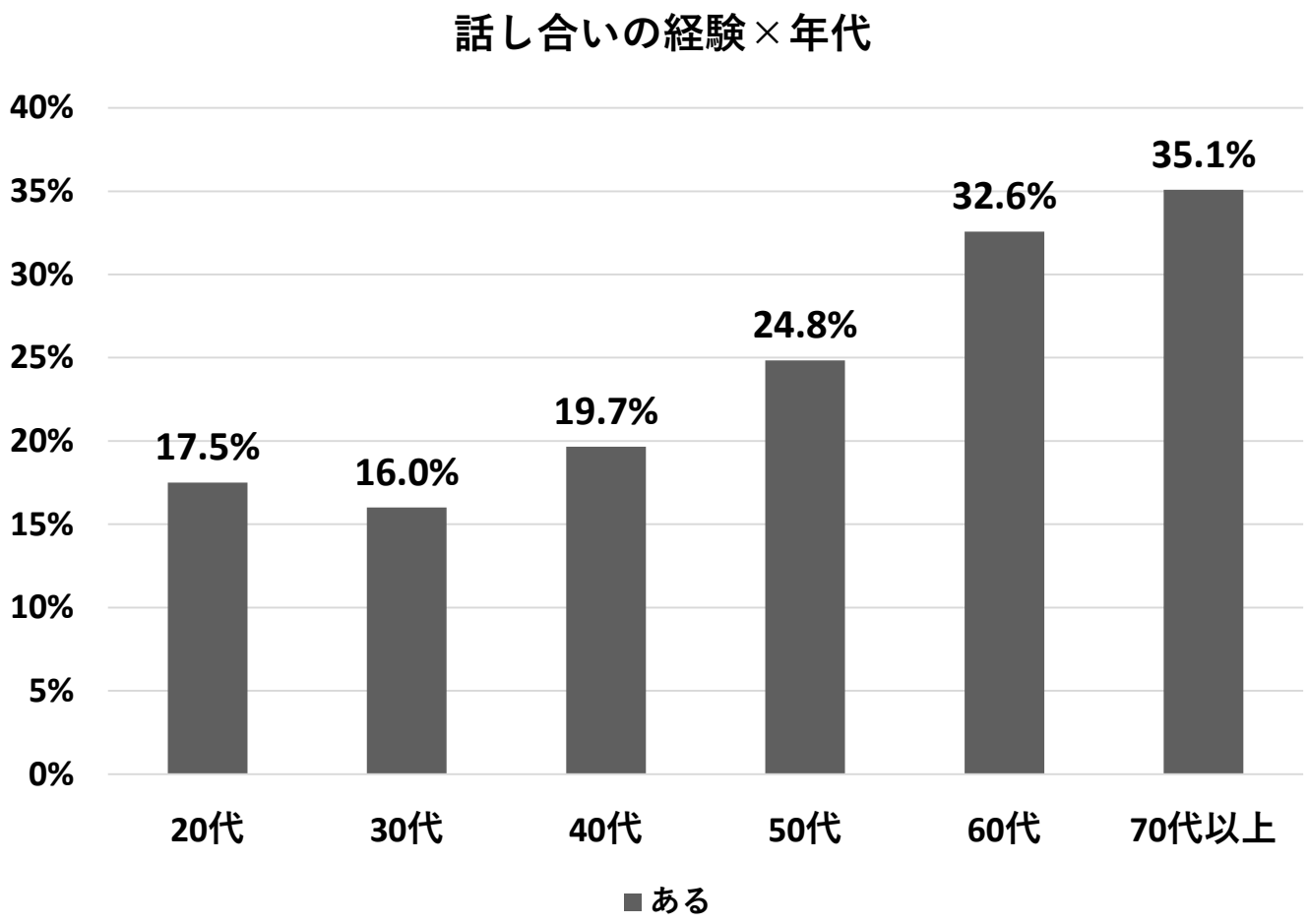
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

「終末期医療」について話し合ったことがある70代は、約35％

図14

【問】自分または身近な人の終末期に受ける医療について、身近な人と具体的に話し合ったことはありますか（年代別での比較）

（2018年6月 n=1,000）



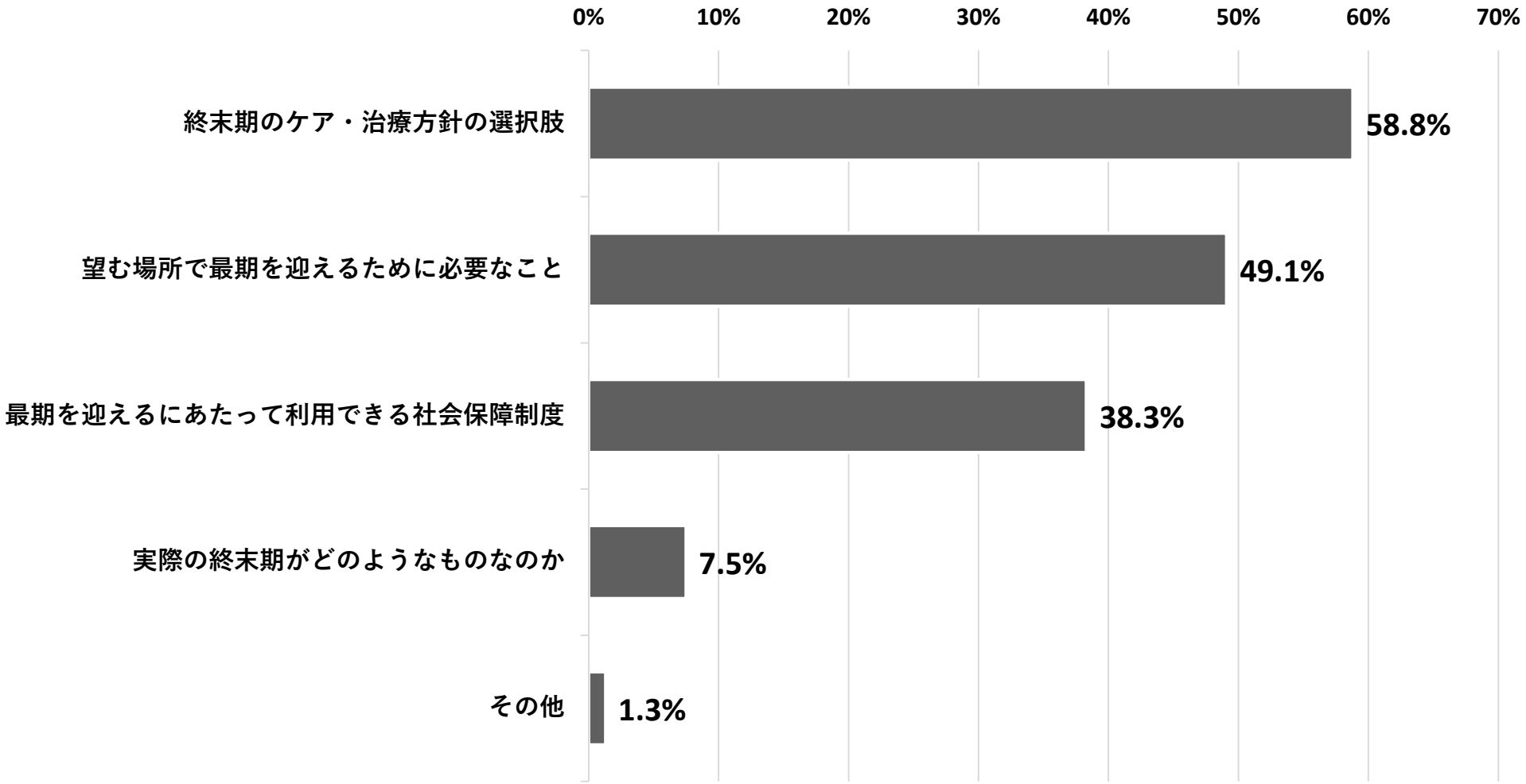
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

人生の最期について話し合うために、「終末期のケアや治療方針の選択肢」について知りたい人が約6割

図15

【問】もし人生の最期について身近な人と話し合うとすれば、どのようなことを知ることが必要だと思いますか。あてはまるものを1つまたは2つお選びください

（2018年6月 n=1,000）



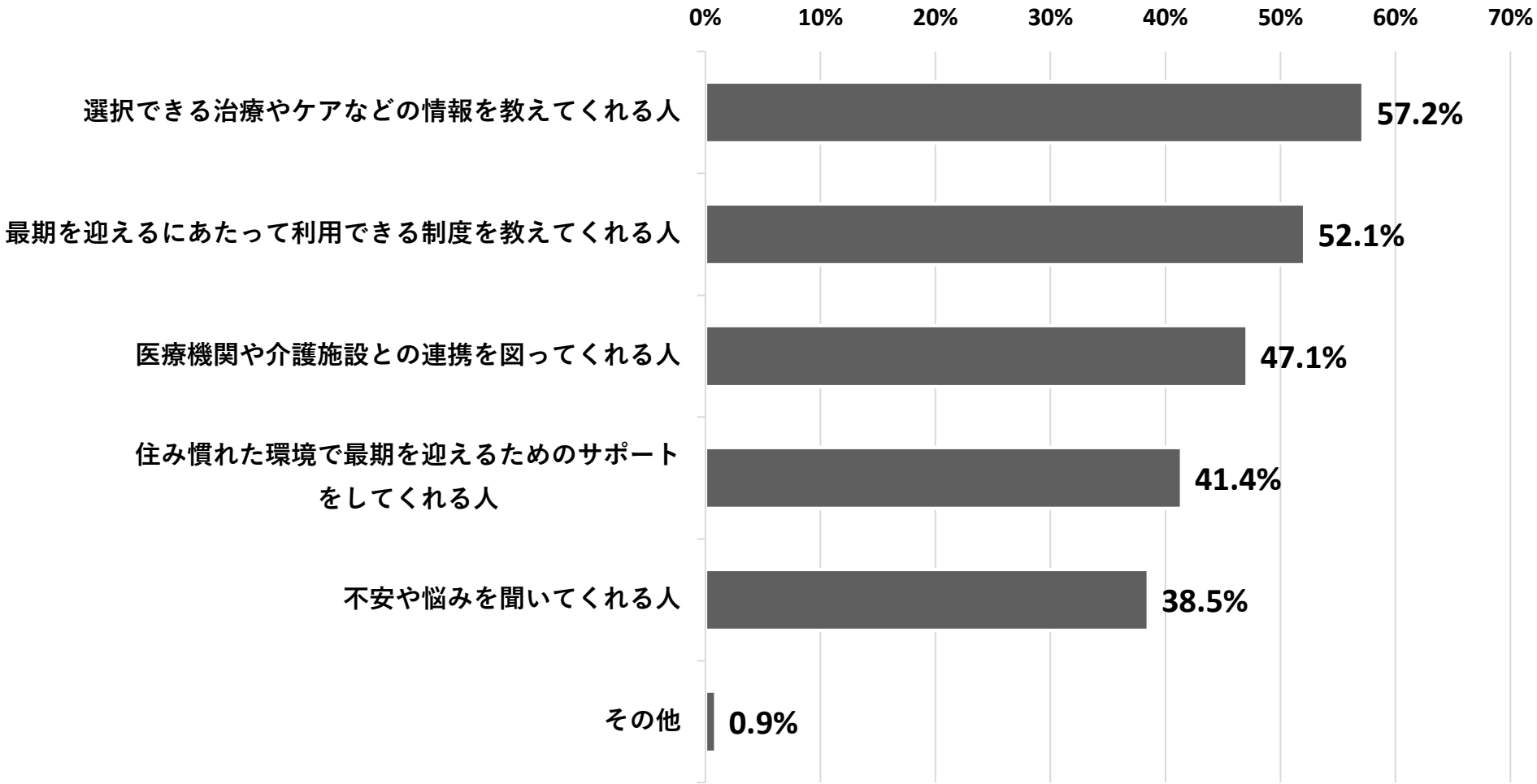
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

約6割が終末期に関わってほしい人として「治療やケアなどについての情報を教えてくれる人」を挙げる

図16

【問】自分が最期をむかえるにあたっての医療・ケアの方針について、どのような役割を持った人に関わってほしいですか。あてはまるものをすべてお選びください

（2018年6月 n=1,000）



出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

参考資料

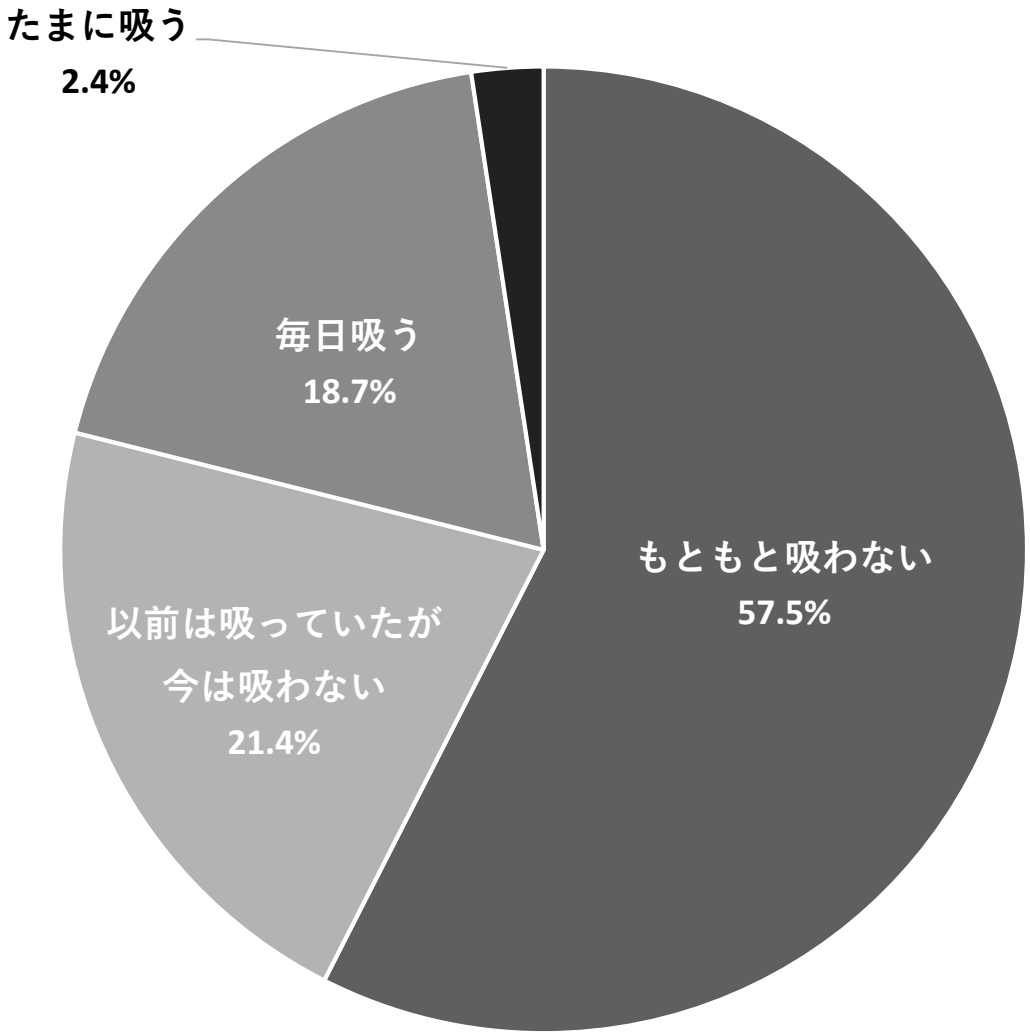
日本医療政策機構

たばこの喫煙経験

参考1

【問】たばこの喫煙経験についてあてはまるものをお選びください

（2018年6月 n=1,000）



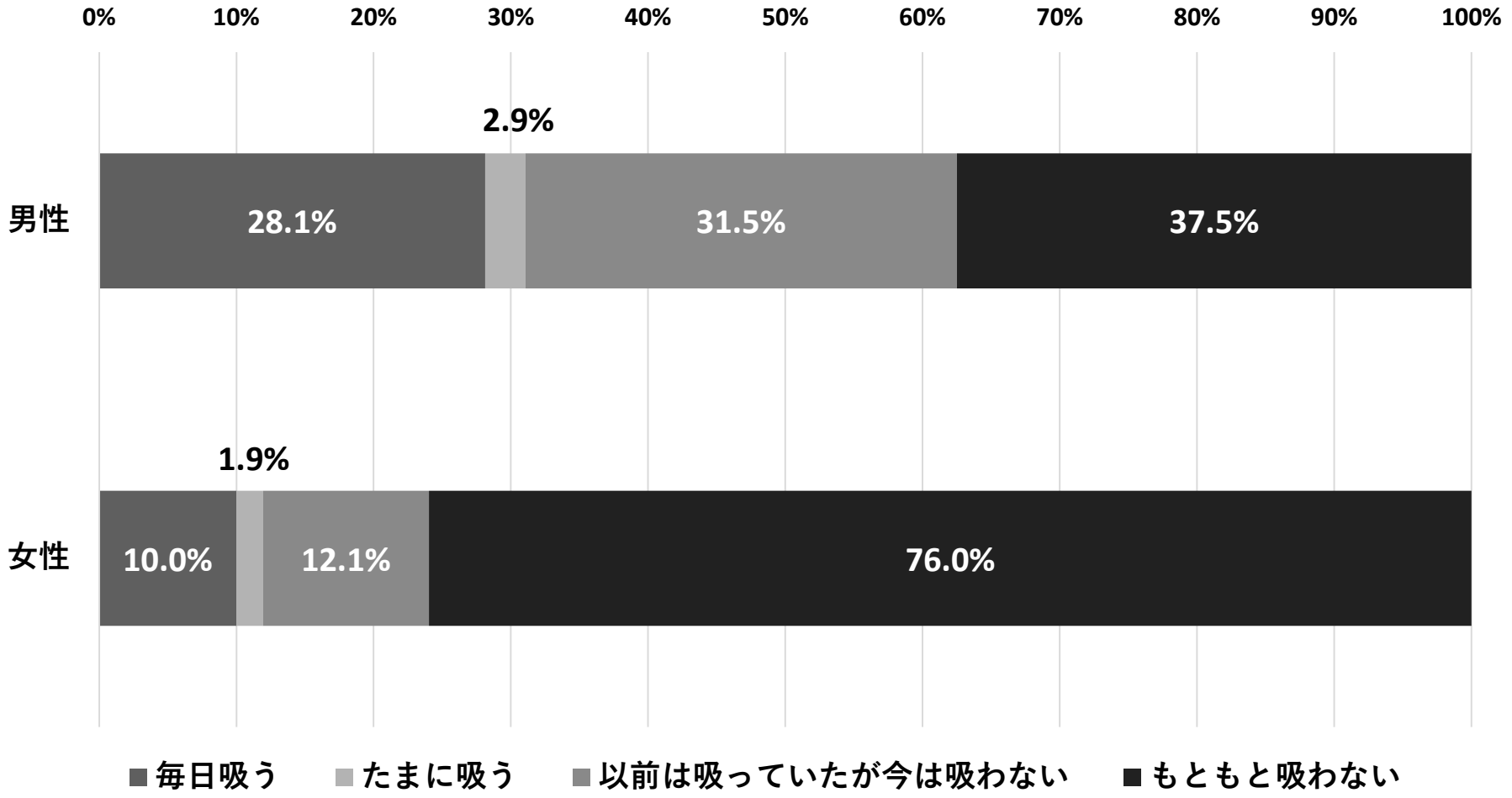
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

たばこの喫煙経験（男女別での比較）

参考2

【問】たばこの喫煙経験についてあてはまるものをお選びください（男女別での比較）

（2018年6月 n=1,000）

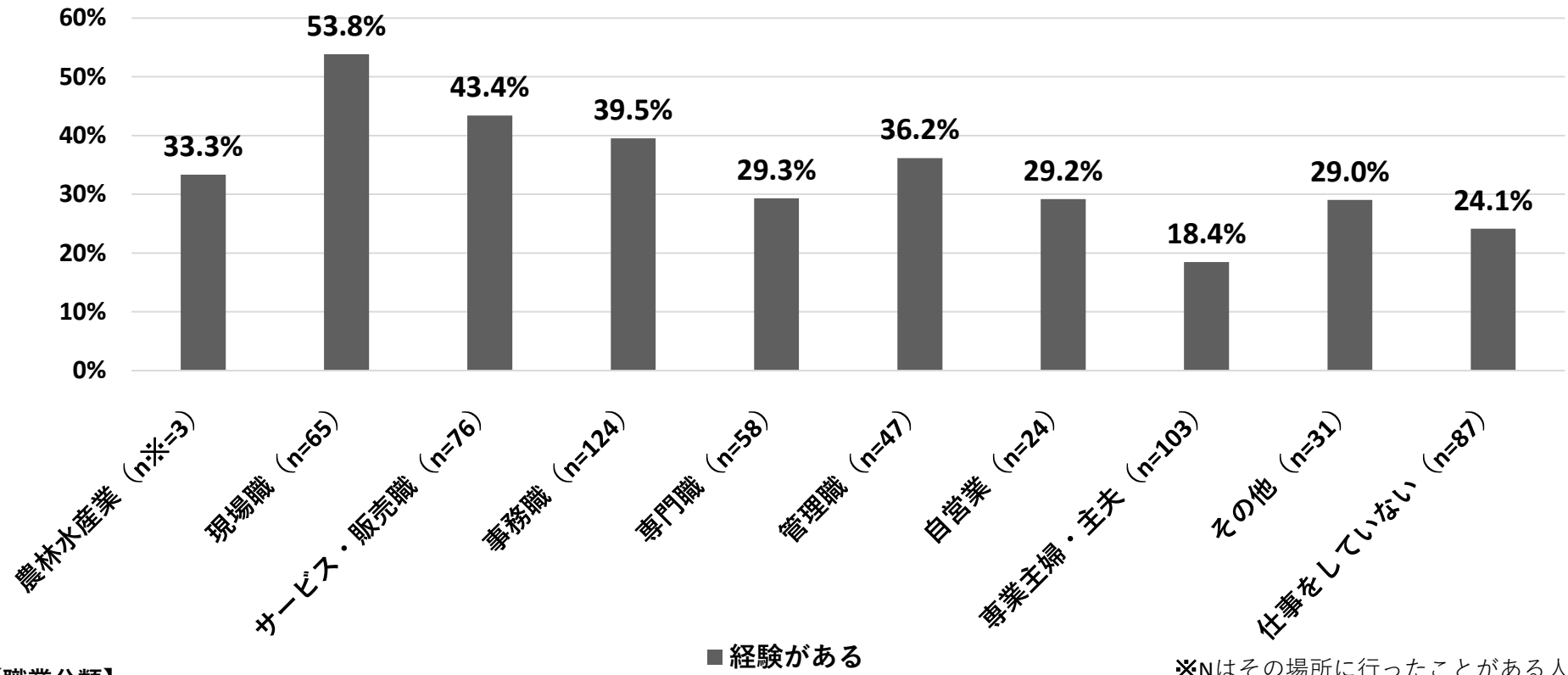


出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

職場や学校における受動喫煙の経験（職業別での比較）

参考3

（2018年6月）



※Nはその場所に行ったことがある人に限る

【職業分類】

- ✓ 農林水産業
- ✓ 現場職（職人、建設作業員、工場作業員、タクシー運転手、警備員、清掃員など）
- ✓ サービス・販売職（ウェイター、販売員、ヘルパー、美容師、営業員、飲食店主など）
- ✓ 事務職（総務、経理、人事、企画、受付、入力、営業補助など）
- ✓ 専門職（医師、看護師、教師、編集者、税理士、コンサルタント、技術者など）
- ✓ 管理職（社長、企業や官公庁の課長以上、団体の役員、議員など）
- ✓ 自営業
- ✓ 専業主婦・主夫
- ✓ その他
- ✓ 仕事をしていない（学生、無職）

出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

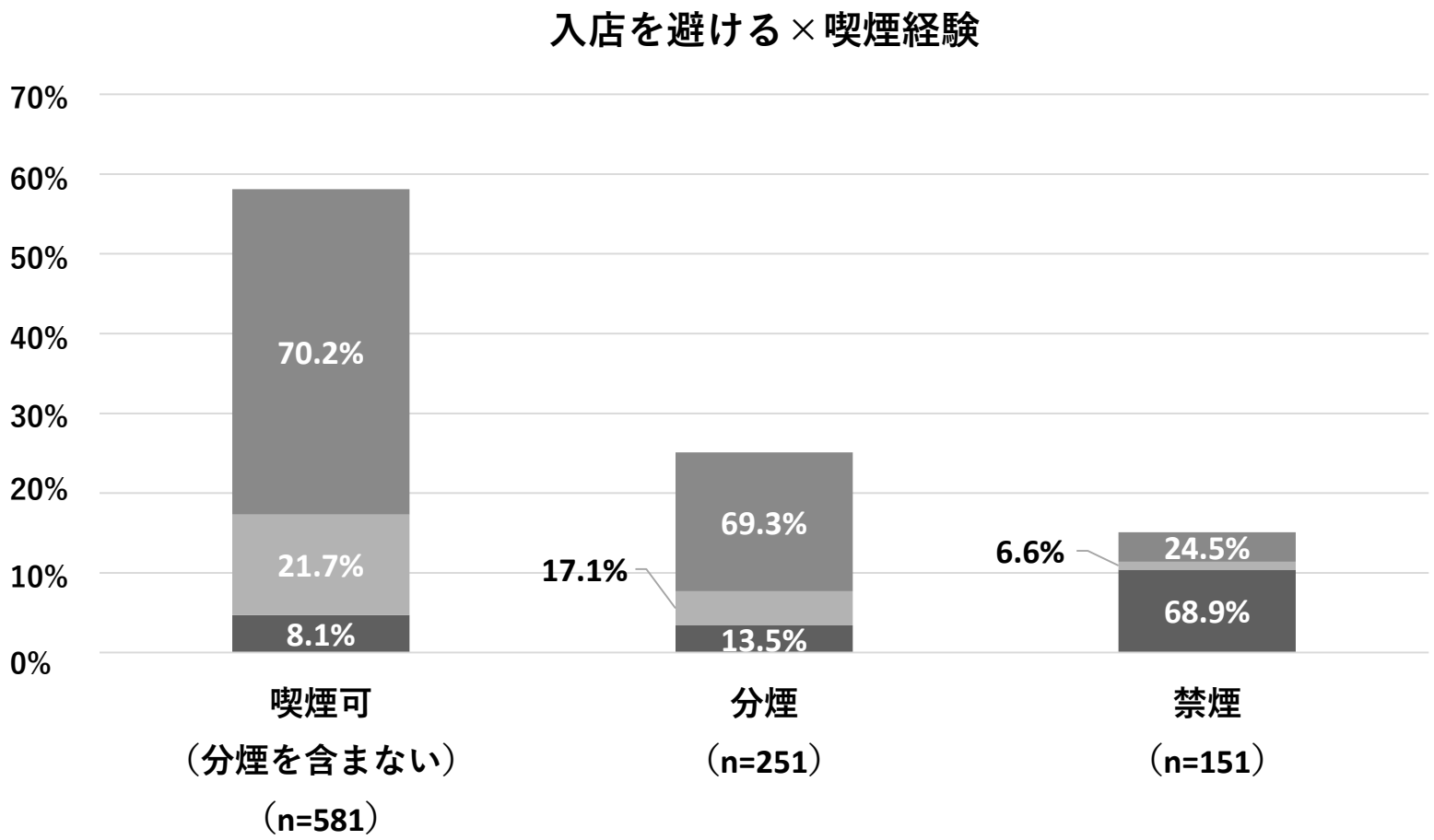
喫煙可／分煙／禁煙の飲食店の入店を避ける割合（喫煙経験による内訳）

参考4

【問】あなたは、行こうとしたお店が喫煙可 / 分煙 / 禁煙だったら、入るのを避けると思いますか

（2018年6月）

※禁煙スペースと喫煙スペースを隔てる方法が社会に浸透していることを鑑み、今回の世論調査では、「喫煙可」「分煙」「禁煙」と分類し、質問した



※本調査では、たばこの喫煙経験について以下の通り用語を定義した
現在喫煙者：「毎日吸う」「たまに吸う」と回答した者
過去喫煙者：「以前は吸っていたが今は吸わない」と回答した者
非喫煙者：「もともと吸わない」と回答した者

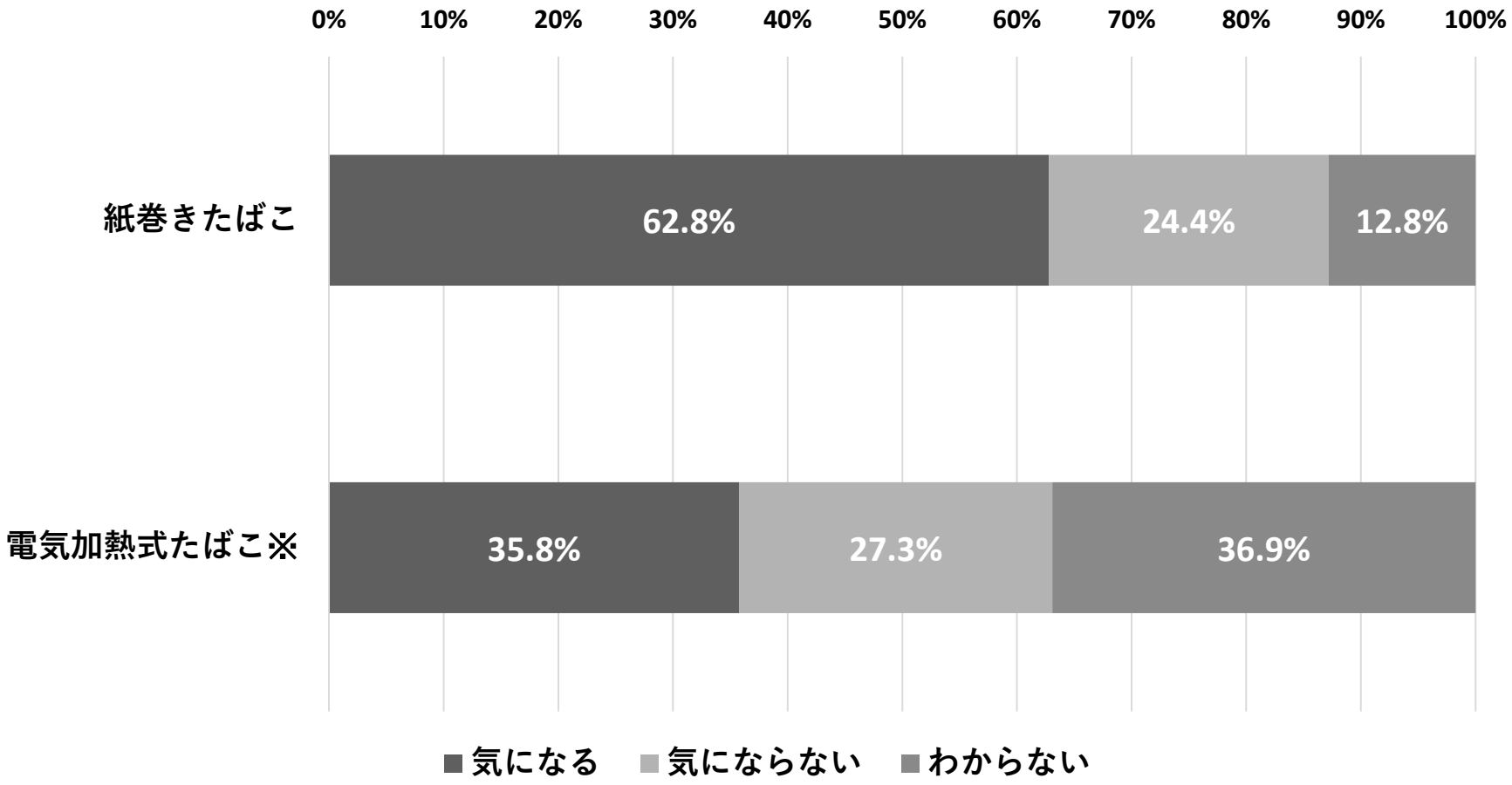
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

受動喫煙による「自分の健康への影響」が気になる人の割合（紙巻たばこと電気加熱式たばこの比較）

参考5

【問】あなたは、たばこを近くで吸われた場合に、自分の健康への影響が気になりますか

（2018年6月 n=1,000）



※電気加熱式たばことは、たばこの葉を燃やさずに電気で加熱し、発生した蒸気を吸い込む方式のたばこです
（例：IQOS（アイコス）、Ploom TECH（プルームテック）など）

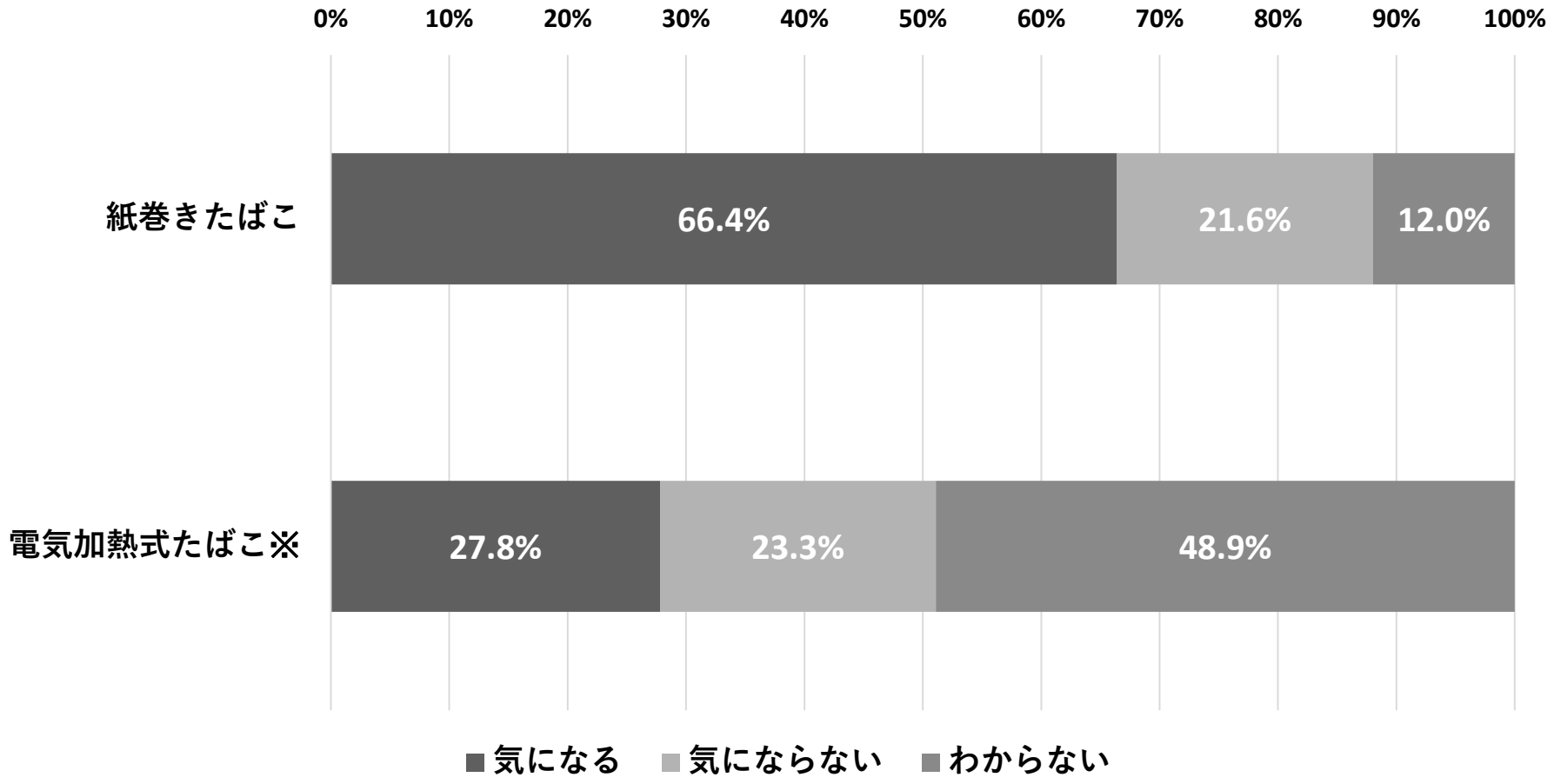
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

受動喫煙による「たばこのにおい」が気になる人の割合（紙巻たばこと電気加熱式たばこの比較）

参考6

【問】あなたは、たばこのにおいが気になりますか

（2018年6月 n=1,000）



※電気加熱式たばことは、たばこの葉を燃やさずに電気で加熱し、発生した蒸気を吸い込む方式のたばこです
（例 : IQOS（アイコス）、Ploom TECH（プルームテック）など）

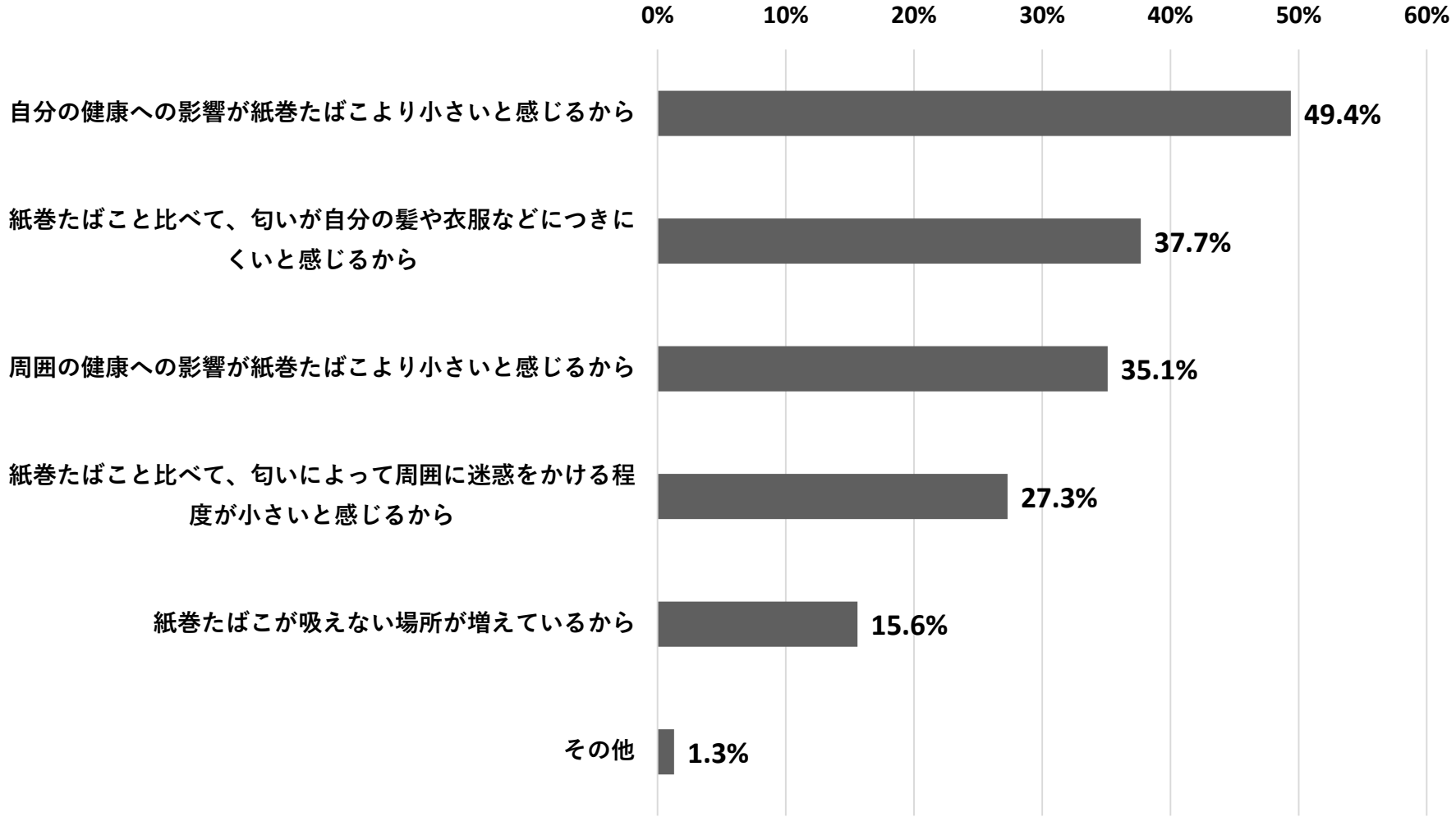
出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

「電気加熱式たばこ」を喫煙している理由

参考7

【問】紙巻たばこではなく、電気加熱式たばこを喫煙している理由についてあてはまるものを全てお選びください

（2018年6月 n=77）



出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

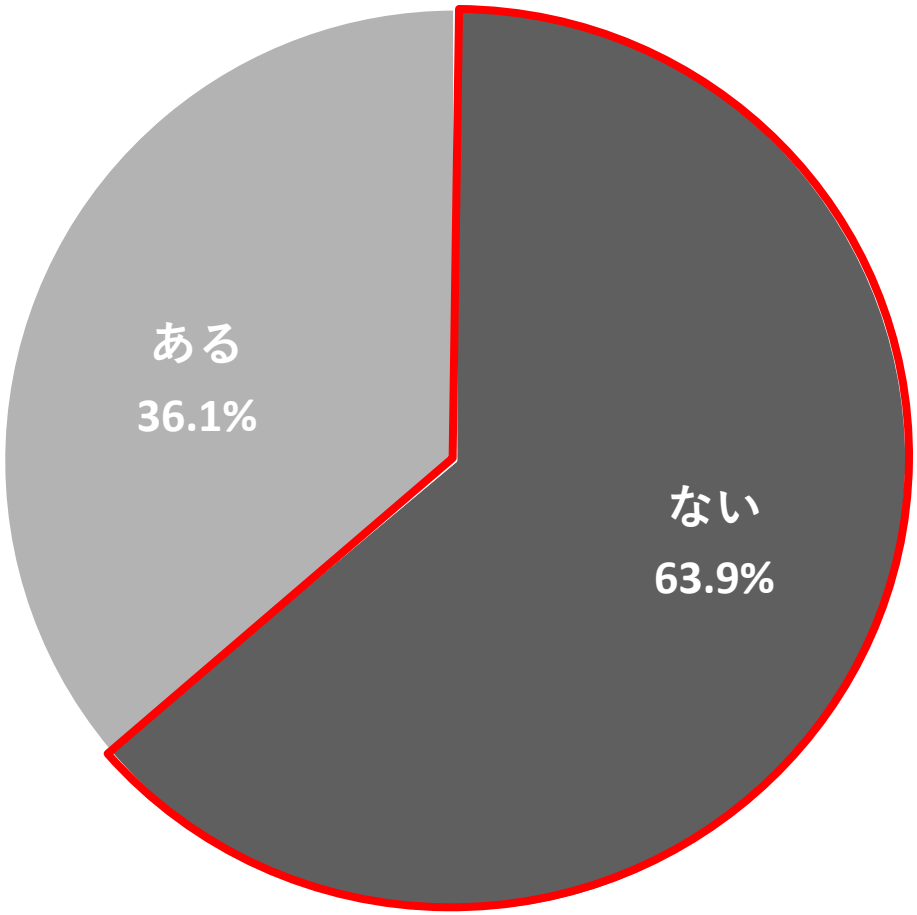
「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」を実際に使用したことがある人の割合

参考8

【問】厚生労働省から発表された、終末期の治療方針の決定手順などをまとめたガイドライン※を「知っている」とお答えした方にお聞きします。そのガイドラインを実際に使ったことがありますか

（2018年6月 n=108）

※厚生労働省 「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」2018年3月

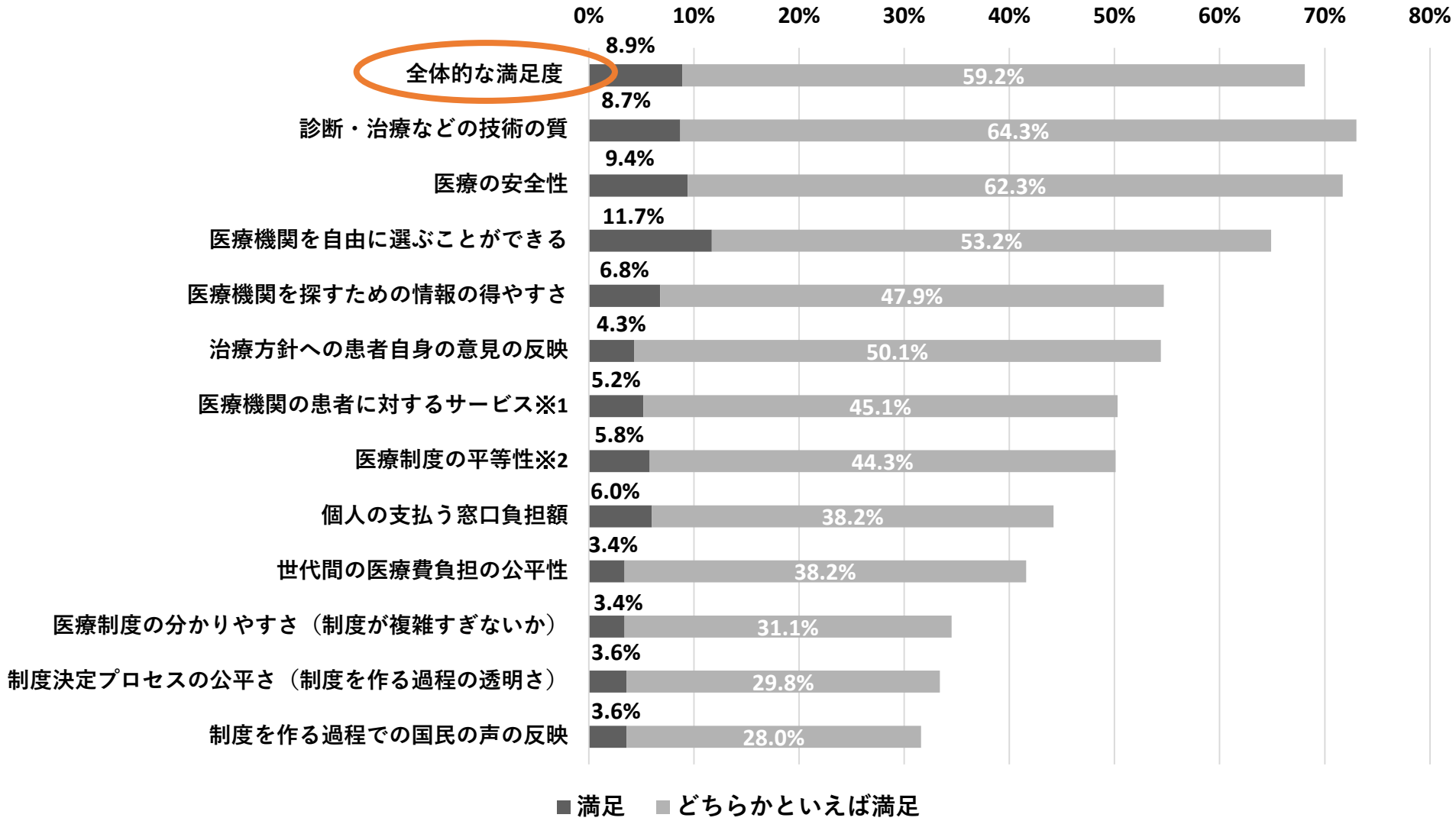


出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」

医療および医療制度に対する満足度

参考9

（2018年6月 n=1,000）



※1 医療の内容以外（職員の対応、医療機関の環境、待ち時間など）でのサービス
※2 経済格差に関係なく、国民全員が同じ医療を受けることができる

出典：特定非営利活動法人 日本医療政策機構 「2018年日本の医療に関する世論調査」